

下岡 泰斗さん 近畿大学 工学部3年 在学中

呉市生まれの呉市育ちです。モノづくり・創作することが好きで、やりたいと思ったことは積極的に実践しています。学校ではプログラミング等を日々勉強中です。将来、世の中に役立つものを開発出来たらと考えています。

小瀧 雛子さん 広島文化学園大学 社会情報学部3年 在学中
山形 菜月さん 広島文化学園大学 社会情報学部3年 在学中

健康福祉学科の社会福祉士養成コースに所属している2人です。現在、国家試験の勉強を頑張っています。また、休みの日にはボランティア活動にも積極的に参加しています。



企業概要

2 003年4月に、重度の身体障害者・知的障害者の自立生活支援、地域生活支援等当事者中心の地域ネットワークセンター樹立を目指してNPO法人「地域ネットくれんど」として事業を開始し、以降、障害者が一人の市民として地域で生活できる、「持続可能な社会」の実現をめざして活動しています。



右から山形さん、小瀧さん

特定非営利活動法人 地域ネットくれんど

大藤 彩未さん 住 絵里奈さん

小瀧 雛子さん 山形 菜月さん

Q 貴法人は長きにわたって様々な事業(支援)をしておられますが、「現在、特に重点をおいている事業」と「今後、力を注ぐ予定の事業」についてお聞かせください。

A 私たちの施設にお越しの一人一人(メンバー)が、市民として地域で暮らすために必要なサービスの一つずつ増やしながら現在に至っています。そのために、地域でできることとして、地域事業や地域行事へ積極的に参画しています。来られているメンバーと一緒に参加することで、当事者が地域の中でも役割を持ちながら暮らしていけることを皆さんに知ってもらうこともできます。今後の事業としては、家族の高齢化に伴い生活基盤の維持が難しくなった場合でも地域で暮らしていけるようグループホームの増設について取り組んでいるところです。

Q この仕事をしていく上でのやりがいを感じることを、現在の仕事内容とあわせてお聞かせください。

A メンバーと一緒に仕事をする中で、今までできなかった事ができるようになったときは、すごくうれしい気持ちになり、とてもやりがいを感じます。地域の人、お客様からありがとうと言われると、メンバーも嬉しいような表情をし、その表情を見ると私たちもうれしくなります。メンバーと一緒に作業をしながら会話をし、メンバーのたくさんの笑顔をみられること。たあいもない会話がおもしろいところ。介護という感じではなく、いろいろな経験を一緒にできること。日々、違うメニューと一緒にいき、一緒にできる仕事を探していけるところなど、やりがいは数えきれない程あります。私たちが落ち込んだ時は、メンバーが励ましてくれることもあるんですよ。

Q 働き始めて大変に感じたこと、実際に大変だったことはありますか。

A 大変に感じたことより、メンバーへの対応の仕方に悩んだことはあります。入社当時は、メンバーの気持ちを考えることができなかったこともあり。それぞれのメンバーのこだわりを知る

こと、関わり方、どうしてこのような行動をとるのかを想像することができませんでした。私たちは、自分の気持ちを言葉で伝えたり、表現することができますが、メンバーの中には、言葉で伝えること、表現することができない人が多いです。メンバーが伝えたいことは何か、どうしてほしいのかを気づけない時もありました。

Q その大変だったことはどのように乗り越え、そこからどのようなことを学ばれましたか。

A 悩んだときは、同期に話したり、ミニミーティングをしてスタッフ同士で話をしています。周りのスタッフの方に話すことで、様々な対応法が出てきます。介助方法には、正しい答えはないので、色々な対応をし、どの対応が合っているのか、メンバーと介助者が一緒に探っていくことを学びました。そこから、メンバーの気持ちを大切にしていこうと、同じ目線でメンバーに寄り添うことが大切であることも学びました。私たちスタッフもしんどくなれば、愚痴も出ます。愚痴はあってあたりまえです。ですが、愚痴で終わるのではなく、一緒に悩み、最後には自分の気持ちがプラスになる話をしてくれるスタッフの方が多いです。スタッフも支え合いながら、日々業務に取り組んでいます。スタッフ同士で会話をすることも、大切な時間だと学びました。

Q 貴法人ではどのような人材(タイプやスキル)を新卒者に求めておられますか。特に採用の際に重視することはどのような点ですか。

A 明るく元気な方が良いです。また、メンバーを主体として考え行動できるかが大切です。今年度から採用時の研修として、全職場を体験し「くれんど」が何を意識どのように動いているのかを現場で感じてもらう場もついています。資格取得については、勤務配慮を行うなど、採用後に取得しやすい環境をつくっています。介護福祉士については、実務3年の職員については、ほぼ取得するなど、資格取得については積極的に働きかけ、フォローもしています。



お話をお伺いしたのは、ジョバンニ(就労継続支援B型・生活介護事業所)の大藤彩未さん、住絵里奈さん。アットホームな雰囲気、やさしく答えてくれました。

取材を終えて

今回の取材で、事業所の中だけでなく、食堂やパン屋などの店を開いたり、お弁当の配食サービスなど、地域に積極的に出て地域貢献をしていることも分かりました。また、社員の方が仕事にやりがいをもって働かれており、社内の雰囲気の良さを実感しました。また、利用される方のことをメンバーさんと呼ばれたり、メンバーさんのやりたいこと、できることを優先して支援していることも「くれんど」さんの特色だと感じ関心することはばかりでした。どうもありがとうございました。